



のどかサポート合同会社DX推進計画



2024年12月1日 第1版
のどかサポート合同会社
代表社員 栗城 和也

ビジョン・会社概要



DX推進やデジタル化に関する「ホームドクター」をめざします

企業や自治体のみなさまがお持ちの課題解決に向けて、お気軽にご相談いただき
伴走しての解決に向けた支援をいたします

社名	のどかサポート合同会社
設立日	2023年8月31日
所在地	宮城県仙台市青葉区国見二丁目13-23-101 TEL : 022-200-6603 FAX : 022-200-6605
代表者名	代表社員 栗城 和也
業務内容	DX推進及びITコンサルティング業務
従業員数	2名(2024年12月1日現在)
Webサイト	https://www.nodoka-support.com/

目次

1. 経営ビジョン及びビジネスモデル
 - 1-1. データ活用やデジタル技術の進化による社会環境の変化に対する認識
 - 1-2. 経営ビジョン
 - 1-3. ビジネスモデルの方向性
2. 経営ビジョンやビジネスモデルを実現するためのDX戦略
 - 2-1. DX戦略概要
 - 2-2. DX推進体制
 - 2-3. デジタル人材の育成
 - 2-4. ITシステム環境の整備
3. DX戦略の達成度を図るための指標
4. 代表社員による対外的な情報発信
5. 補足事項
 - 5-1. 現状把握の実施状況
 - 5-2. サイバーセキュリティ対策

1. 経営ビジョン及びビジネスモデル

1-1. データ活用やデジタル技術の進化による社会環境の変化に対する認識

データ活用やデジタル技術の進化は、顧客ニーズの多様化やリアルタイム対応の重要性を高め、競争環境を急速に変化させています。これにより、企業では新たな市場機会を捉える一方、競合他社との迅速な差別化が求められます。

また、業務効率化や生産性向上が進む一方で、**変化に対応するための組織改革や人材育成が課題**となることを認識しております。

1-2. 経営ビジョン

DX推進やデジタル化に関する「ホームドクター」をめざします

企業や自治体のみなさまがお持ちの課題解決に向けて、お気軽にご相談いただき**伴走しての解決に向けた支援**をいたします

1-3. ビジネスモデルの方向性

当社はデータ活用やデジタル技術の進化による企業や自治体のみなさまのDXに向けた組織改革や人材育成、その必要性を認識いただき機運醸成の**DX推進初期フェーズの支援に注力**して、DX推進の支援をビジネスモデルと捉えております。

2. 経営ビジョンやビジネスモデルを実現するためのDX戦略

2-1. DX戦略概要

当社では、**限られた人材リソースで最大限のお客様支援を実現するためにデータやデジタル技術を最大限に活用いたします。**

現在、具体的には下記の取組を実施しております。

- ◆グループウェア・チャットツール・Web会議ツール等による**コミュニケーションスピードの向上**
- ◆官公庁公表データや民間調査企業のデータベースを活用した先行事例などの**調査時間削減**
- ◆電子決裁やグループウェアなどを用いた**ペーパーレス**の推進
- ◆動画配信プラットフォームを利用するの弊社既存セミナー**動画の蓄積及びアーカイブ配信利用**

2-2. DX推進体制

当社は従業員数が2名と少数であるため、**代表社員がDX推進責任者**となり、DX推進を図ります。

2. 経営ビジョンやビジネスモデルを実現するためのDX戦略

2-3. デジタル人材の育成

従業員にはDX推進に必要な知識・スキル習得のために下記の資格取得を奨励し、**研修・受験費用の会社負担**を行っております。

奨励資格		
	取得目的	
DXの「X」	ITコーディネータ	IT経営を学ぶことによりDX推進ストーリーのフレームワークを習得する
	中小企業診断士	お客様の課題解決に対して多面的な支援ができるようになる
	販売士/営業士	お客様とのコミュニケーションの取り方・ヒアリングなどについて理解する
DXの「D」	ITパスポート	お客様とITベンダとの間での「共通言語」を理解し、コミュニケーションの橋渡しを行う

2-4. ITシステム環境の整備

当社では、去年の会社設立時より必要なITシステム環境の整備を行っております。具体的には下記の通りとなります。

- ◆全従業員に**ノートパソコン**及び**業務用スマートフォン**を貸与
- ◆**クラウドサービスの積極利用**（グループウェア、チャット、会計、電子決裁、勤怠管理など）

今後、新たなITシステムの利用が必要となった際には適切な手法により調達することとします。

3.DX戦略の達成度を図るための指標

DX戦略の進捗を確認するために下記の指標を定め、半期ごとに達成状況の評価を行います。

		指標		
		指標名	目標値	概要
企業価値創造	お客様とのDX推進事例創出	2件/年	当社のお客様と協力の上、他のお客様にも水平展開できるようなDX推進事例の創出をめざします	
	経営者からの情報発信	1件/月	お客様に有益なDX関連情報や当社の取組について当社Webページにて情報発信を行います	
DX戦略実行	電子決裁利用率	100%	当社とお客様との間で締結する契約書などに関して、お客様の強いご要望がある場合を除いて、電子決裁の利用をいたします	
	社員資格取得率	100%	当社で定めている奨励資格の取得を従業員全員に働きかけ、DX推進ができるデジタル人材の育成を図ります	

4. 代表社員による対外的な情報発信

当社では、**自社WebページやPRTIMESなどを活用して、お客様と一緒に取り組んだデータやデジタル技術を活用した事例を積極的に発信いたします。**

【発信例】



仙台 BOSAI-TECH 「2024年度 試作開発支援プログラム」に採択いただきました

お知らせ

2024年10月12日

この度、仙台市様が主催・運営されている「BOSAI-TECH」をキーワードに、防災×テクノロジー×ビジネスを融合した防災課題に対する新たな解決策を持続的に生み出す場としました「仙台 BOSAI-TECH」イノベーションプラットフォームにて募集がございました、「2024年度 試作開発支援プログラム」に採択いただきました。

「新たな同報系情報提供システムの試作開発」をテーマに共同提案企業様と一緒に今後取り組んでまいります。

詳細は下記URLをご確認ください。
2024年度 試作開発支援プログラム（二次募集） | 仙台 BOSAI-TECH イノベーションプラットフォーム (sendai-bosai-tech.jp)

戻る

PRTIMES STORY 成果の裏側にあるストーリーをメディアに届ける

動画配信を活用した高校部活動の支援を目指す！『ダンプレでたくさんの笑顔と元気を届けたい』SIT Bandとの新たな挑戦！

#SITBand #部活動 #活動費用

2024年12月1日 10時29分

のどかサポート合同会社

部活動やアマチュアスポーツの運営には活動資金が必要となりますが、従来では部員からの部費徴収やOBなどからによる寄付に頼っている現状がありました。しかし、少子化による部員減少などにより活動資金も集めることも難しくなりつつあります。

この課題解決に向けて「動画配信を活用した新たな部活動支援」の形による札幌国際情報高校吹奏楽部（以下、SIT Band）のみなさんと取り組んでいる定期演奏会の有償配信(<https://sitband.zero-stream.jp/>)に関する実証についてご紹介いたします。

<SIT Bandプロフィール>

5. 補足事項

5-1. 現状把握の実施状況

当社の現状把握につきましては、IPAの「DX推進指標」による自己分析サイトがございます、自己診断チェックツールを利用して実施済となっております。

5-2. サイバーセキュリティ対策

SECURITY ACTION制度に基づく二つ星の自己宣言について申請中となっております。